



津波対策について

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<予想高さ) 10m (5m<予想高さ≤10m) 5m (3m<予想高さ≤5m)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
津波警報	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、 より高い場所を目指して避難しましょう！	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

津波からの避難



※津波フラッグは
避難の合図!!



津波警報等を知る手段に、令和2年夏より新しく『津波フラッグ』が加わりました。海水浴場や海岸付近で『津波フラッグ』を見かけたら、速やかに避難しましょう。

津波の特性と避難行動のポイント

！ 水辺からすぐに離れる

津波注意報であっても水辺は危険。ただちに海岸や川べりから離れる。

！ 津波の速度は速い

津波の速度は非常に早く、目に見えてから逃げるのでは間に合わない。

！ 避難したら戻らない

到達予想時刻が過ぎたり、第一波が引いたとしても、津波警報・注意報が解除され安全が確認されるまでは避難を継続する。

！ 津波は何度も来る

津波は一度だけでなく複数回襲来し、後から来る津波の方が高くなることもある。

！ 津波は場所により高くなる

津波は沿岸に近づき水深が浅くなるほど、急激に高くなる。また、V字型の湾や岬の先端など、地形の影響で局部的に高くなる。

！ 津波は遠くからも来る

津波は遠方の地震等によって発生することもある。日本近海の地震が伴わない津波警報・注意報にも注意する。

もしもの時のため、「津波標識」の確認を

津波の危険がある場所には、津波が襲う危険を示す「津波注意」標識や、避難場所、避難ビルを示す標識が設置されています。海の近くにいるときは、必ず避難経路と合わせて確認しておきましょう。



津波避難場所



津波避難ビル



津波注意

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)